



顕微鏡デジタルCCDシステム

▲ IMAGEX-S2M
顕微鏡デジタルCCDシステム

製品番号	製品名	価格
IMAGEX-S2M	顕微鏡デジタルCCDシステム	別途御見積

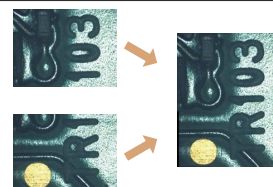
● 特長 Sales Point

- 顕微鏡、覗くだけから「見える化」へ、そして、検鏡像を「測れる化」へとサポートします。使いやすさと高機能を追求した顕微鏡用デジタルカメラシステムです。
- カメラはCマウント、1/1.8"カラー CCD、200万画素、15fps(フレーム/秒)、USB2.0採用です。
- 顕微鏡への接続は、接眼鏡筒の内径が23.2mmおよび30mmであればアダプタ装着で可能、Cマウント経由でも接続できます。
- 顕微鏡以外にもCマウントアダプタ経由であれば三次元測定機(マニュアル)や硬度計の光学系カメラヘッドとして搭載することができます。

■ 高機能ソフト Image X Earth 主な特長

画像連結機能

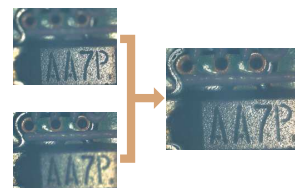
隣り合う複数の画像をつなぎ目が目立たない滑らかな広視野画像に合成(つなぎ合わせ)しますので、実視野が狭い顕微鏡でも広視野観察が可能になります。合成位置を指示して自動フィッティングするだけで、誰でも簡単に画像連結を行えます。連結後の画像においても計測可能です。



焦点合成機能

顕微鏡画像は焦点深度(ピントが合っている範囲)が浅いため、被検物の全体像の把握が困難ですが、焦点合成機能によりピントが異なる複数画像を合成し全域にピントが合った画像表示が可能です。

また、画像撮影した際のZ軸位置を数値入力することにより、高さ方向をイメージしたカラー表示も可能です。



ライブ画面表示(フルサイズも可能)

フルサイズ(最大)でライブ画像を表示できますので、モニタ上での外観検査に便利です。

画像処理

撮影画像の2値化処理や回転・傾き補正、画像へのコメント入力(書込み)、画像の色合い・鮮やかさなどの微調整が可能です。

画面内計測

使用頻度が高い基本的な13種類の計測コマンドと自動エッジ検出機能※により汎用性が高い計測ができます。

※ライブ画像では行えません。

検査表作成(Excel連携)

Excel上の任意セルにデータ転送されますので検査表作成を強力にサポートします。

画面内計測(キャリブレーション機能付)

13種類の基本的な計測コマンドから選んだ後は、マウスクリックするだけで顕微鏡画像の画面内計測ができます。

自動エッジ検出

対象被検物のエッジ周辺でマウスクリックした後、自動エッジ検出ボタンを押せば瞬時にフィットします。

計測テンプレート

個々の計測コマンドにおいて画面上に表示される計測線はテンプレートとして保存(同一画面内で計測線が複数存在する場合は一括保存)できます。

タイムラプス・タイマー機能

顕微鏡画像の撮影では、常に作業者がその場にいることができないケースもありますが、本システムは無人による長時間撮影を可能にします。

※連続したタイムラプス画像をつないで疑似的動画を作成し、AVI形式ファイルとして再生・保存できます。

ライブ画面におけるリアルタイム計測

保存した画像から計測することもできますが、ライブ画面時にも計測できますので、すぐ計測結果が知りたい場合に非常に便利です。

画像調整機能

顕微鏡画像をよりきれいに撮影保存するため各種設定が可能です。

比較検査に便利なレチクル表示

ライブ画面に表示される画像に中心線・ものさし(X・Y軸)・スケール(X・Y軸)・同心円(複数)・角度線を表示(個別または同時)することができ、線種・色・ピッチ等の詳細設定も可能です。

動画撮影機能

顕微鏡下の被検物の静止画画像はもとより、動いている被検物の撮影も可能なため、経時変化や微小な動きを確実に記録します。

